

第464号 2022年(令和4年)10月11日発行 編集・発行

上智学院総務局広報グル

東京都千代田区紀尾井町7-1 www.sophia.ac.jp

[Facebook] www.facebook.com/SophiaUniversity [Twitter]@SophiaUniv_JP

9月20日に2022年度9月期学位授与式が、

|共有し、その解を導くた|パーソンは学位を授与さ|場にいる他者のために発

す。その一翼を担うキー一い社会のために、弱き立一た。学位取得者は博士後

高度なその能力を、正し れた皆さんです。高貴で

と述べ、卒業生を激励し

大学ソフィア会会長の鳥

コースなど、英語のみで

曄道学長の式辞に続い

って上智での学びと研究 念や精神が、皆さんにと |の精神です。これらの理 |はイエズス会学校の共通

るように、期待していま

の動機を与えるものとな

す」と祝辞を述べた。

力による福音書10章29節 神父の祝福で始まり、ル

Others, With Others

表現するモットー『For

|ます。上智の教育精神を 根本的な価値原則があり

佐久間勤理事長、

揮

還元してください」

が授与された。

提示する作業が必要で めの社会的な取り組みを

2022年度

よる司会のもと、式辞や祝辞などすべて英語で執 翌21日に2022年度秋学期入学式が父母、保証 l豊かな2つの式は、英語研究会(SESS)に 生、父母、保証人にはYouTubeから式の模様 参列のもと行われた。来場できない卒業生、新 同時配信された。外国語を話す学生が多く国際

学位授与式 9 月 期

が朗読された。

で始まり、マタイによる一べき安定性を社会全体 神父 (カトリック・イエ ズス会センター)の祝福 式はホアン・アイダル 今、世界を見渡した時

| 多角的に精査し、求める せん。地球社会の現状を すことは容易ではありま 安定した何かを見出

福音書6章25節から3節 曄道佳明学長は式辞で

祝福するアイダル神父 式辞を述べる曄道学長

















新入生代表の磯野駿洋さん

|唱団アマデウスコール、

楽部演奏のもと、混成合 贈られた後、最後は管弦

濱口十志男氏から祝辞が

上智大学後援会会長の

| グリークラブによる校歌

一斉唱で閉式した。

卒業生代表のティ アリサ ミシェルさん

祝辞を贈る佐久間理事長

と、博士前期課程各研究 7人。 出席した博士全員 士前期課程 (修士) 期課程(博士)13人、 科および各学部の代表学 人、 学部 (学士) が16 73 博 卒業生を代表してティ 居正男氏の祝辞に続き、 アリサ ミシェルさん して謝辞を述べた。 (国際教養学部)が登壇 秋

科や研究科に今秋入学し

た、イエズス会によって

学位が取得できる学部学 | む使命を意味します。ま

ち120人は外国籍の新 | 使命には「最も弱い立場

た正規生は222人。 う | 創立された大学としての

人生であった。

の人を優先する」という

式はホアン・アイダル

|生に曄道学長から学位記 もと、混成合唱団アマデ 最後は管弦楽部演奏の

ウスコール、 ブによる校歌斉唱で閉式 グリークラ

Sustainable Sophia Program

(SPSF)、理工英語 から37節が朗読された。 国際教養学部のほか、 for utures 式

が登壇し入学の言葉を述 洋さん(国際教養学部) て、新入生代表の磯野駿

差など課題解決に取り組 グローバル化した現代世 界で目の当たりにしてい うモットーで表現され、 大学の建学の理念は る、さまざまな対立や格 World Together』ょりこ 佐久間理事長は「上智 [™]Sophia-Bringing the

|神野帆夏さん(21年外英 ラリンピックの現地視察 への参加をきっかけに、 卒)が、平昌2018パ 一4人が登壇 初代共同代表の の限界に挑戦する」「Go Beyond Borders 自分 Beyond Limits 自分 るのりのBeyond 動当時から大切にしてい どを話した。そして、 Go 続けていると熱 先へ」を紹介し、 会の先を見据えて 東京大会 東京大

Go Beyond 社3) は活動内容につい 生さん(総社4) 企業や自治体と協働し、 る活動をしてきたこと、 ポーツ体験やアスリート て発表。毎年オリ リンピックの機運を高め からオリンピック・パラ イークを開催し、



Beyondの4人

パーソンズ会長を囲んで

国際色豊かな新入生を迎え202 2年度秋学期入学式を挙行した



授業などを行っているこ | 長、 ピーターズCEO、

書き、笑顔で会場を後に

コロナ禍でも活動の

一両副学長による意見交換

|さん(総グ4)と信岡幸 | の学生との交流を進めて 担当の桐原明香さん(総 × 多様性の視点を掘り下 の講演などを通して学内しい」と力強く話した。 多様性理解のための出張 | バー6人とパーソンズ会| 現副代表の斎藤ましろ | るパリの交換留学協定校 パラス /パラスポーツを通じて共 /あった。 そして会長とC パラウ | 多くの人と共有したい。 活動を | られたことなどを説明し のその|歩みを止めずに、オンラ 広報 いる。 今後は、スポーツ |わり、Go Beyondメン | Go Beyondのエシャツ |ん(国教2)の2人が加 生社会の実現を目指した げ、スポーツが持つ力を リンピックの開催地であ インで地方への輪を広げ 、総教3)と大森星空さ その後、金成桃さん にサインとメッセージを 動を認めた上智大学もす |さんが他者のために行動 生からの求めに応じて 自らがはじめたことにも |EOの2人から「情熱を | 感銘を受けた。学生の活 を起こしたことを称賛し ーソンズ会長から、 |の時間が設けられた。 持ち続けてほしい」とエ ばらしい」とコメントが に促されたのではなく、 たい。それが都や国など ールが贈られた。 パーソンズ会長は、学 学生の発表を受けてパ

員公

が本学を訪問

ソフィア いて、

Go Beyondのメークトを立ち上げたことな一超える」

|18年6月に学生プロジェ|と人との見えない境界を

イク・ピーターズCEO

|副学長の歓迎の挨拶に続

長と岡田隆学術研究担当

伊呂原隆学務担当副学

パーソンズ会長とマ

公式

年を機に来日した、国際 0パラリンピックから1

Go

Beyondと交流し

ピック学生プロジェクト オリンピック・パラリン

東京202

ラリンピック委員会 IPC) のアンドリュ

委

ħ

ŋ

y

学生プロジェク

7